

時代	西暦	事項(地区・区町村)	兵庫県のできごと	
旧石器	100万年前	アカシゾウ(東播)	ナウマン象より古い象の化石が発見されている	
		明石原人(東播)	1931年に、西八木海岸で人間の腰の部分とみられる骨が発見される。実物は空襲で焼失して石膏模型のみが残り、議論をよんでいる	
	3万年前	西八木遺跡(東播・明石)	県内130か所の旧石器時代の遺跡のうち、最古といわれる	
	3~1万年前	春日・七日市遺跡(丹波・春日)	打製石器が出土している	
		板井寺ヶ谷遺跡(丹波・丹南)	剥片石器など3500点が出土している	
縄文	7000年前	福岡ツツガ平遺跡(但馬・村岡)	初期の押型文土器やヒスイのつつ状耳飾りの破片が出土している	
		西舞子・大歳山遺跡(神戸・垂水)	隠岐から運ばれたと思われる黒曜石など1万点の石器が出土し、前期縄文土器の代表である薄手の爪形文土器が知られる	
	3000年前	辻井遺跡(西播・姫路)	屈葬人骨が土器の破片や石鏃とともに出土している	
		育波遺跡(淡路・北淡)	中学校の敷地から土器の破片1000点が出土している	
弥生	紀元前 3~2世紀 1~2世紀	玉津・吉田遺跡(神戸・西)	弥生時代初期の遺跡で、ヘラ描き木の葉文の土器や鉄器、紡錘車が出土している	
		加茂遺跡(阪神・川西)	弥生時代中期の遺跡で、石包丁・石鏃・石斧などが大量に出土している	
	紀元 1~3世紀		会下山遺跡(阪神・芦屋)	弥生時代中期の高地性遺跡で、標高185mの地点に位置する。稲作に不利な土地であるため、「倭国大乱」の影響で高地に住んだという説がある
		田能遺跡(阪神・尼崎)	弥生時代後期の代表的な遺跡で、甕棺や壺、土こう墓などが見られ、身分により埋葬方法が異なっていたと考えられる	
		大中遺跡(東播・播磨)	土器が大量に出土している	
		慶野遺跡(淡路・西淡)	江戸時代に銅鐸が出土した	
		桜ヶ丘遺跡(神戸・灘)	原始絵画が描かれた、14口の銅鐸と7本の銅戈が出土している(国宝)	
		今宿丁田遺跡(西播・姫路)	銅鐸の鋳型が出土している	
		3~4世紀	安倉高塚古墳(阪神・宝塚)	竪穴式石室を持つ初期の古墳で、「赤烏」の年号が書かれた中国製の鏡が出土している
			森尾古墳(但馬・豊岡)	はにわ(埴輪)や葺石がない初期の古墳で、鏡や勾玉・管玉、多数の武器が出土している

350 ころ 4~5 世紀	吉島古墳(西播・新宮)	海拔 370m の山頂に築かれた初期の古墳で、ここから出土した鏡の同範鏡が近畿の各地で見つっている。同範鏡が分布する範囲が大和政権に属した地域だと考えられる	
	五色塚(神戸・垂水)	県下最大の古墳で、復元された姿は有名	
		大和朝廷が国土を統一する	
	池尻15号古墳(東播・加古川)	後期の群集墳からは太さ 0.5mm の金糸が出土している	
	雲部車塚(丹波・篠山)	いずれも全長 100m を超す中期の古墳である	
	壇場山(西播・姫路)		
玉丘(東播・加西)			
6 世紀	小丸山古墳(西播・御津)	装飾のある須恵器が出土している	
	縮見屯倉(東播・三木)	播磨国風土記によると、播磨には合計 8 か所の皇室直轄地があったという	
600 ころ	法隆寺領播磨田(西播・太子)	聖徳太子は推古天皇より播磨国の水田を百町贈られ、後に斑鳩寺が建てられた	
		このほか、賀古郡の寺領には鶴林寺が建てられた	
631	有間温湯(神戸・北)	舒明天皇が湯治を行う	
645		大化の改新が始まる	
647	有間温湯	孝徳天皇が湯治を行う	
710		都を平城京に移す	
良	713	播磨国風土記(東播、西播)	播磨は風土記が現存する 5 国の 1 つである 当時の産品・風俗・伝説などを伝えている
	8 世紀	明石大門(東播・明石)	柿本人麻呂らの歌人が船で明石海峡を通る時に多くの歌を残している
740 ころ		河尻(阪神・尼崎)	この時代の瀬戸内航路では、ここや大輪田(神戸・兵庫)・魚住(東播・明石)・韓(西播・姫路)・櫻(西播・御津)の 5 泊があった
		養耆(但馬・八鹿)	この時代の山陰道の宿駅である
		賀古(東播・加古川)	この時代の山陽道の宿駅で、駅馬 40 頭を備え、全国最大規模であった
		昆陽寺(阪神・伊丹)	行基が各地をめぐり、多くの寺院を建立する
	741	但馬国分寺(但馬・豊岡)	聖武天皇の命令で、国ごとに国分寺・国分尼寺が建てられる

### 【神話の中の話】

おのころ島(淡路)	「古事記」の国生みの神話では、淡路島を日本で最初にできた島としている
出石神社(但馬・出石)	新羅の王子天日槍が但馬に渡来し、天皇に宝物を差し出したとある
志染の石屋(東播・三木)	仁賢天皇と顕宗天皇が、幼いころに天皇家の争いからのがれ、ここに隠れたという伝説がある

	765	淳仁天皇(淡路)	恵美押勝の乱で皇位をうばわれた淳仁天皇が淡路に流され、この地で死去する
	785	早良親王(淡路)	桓武天皇の皇太弟であったが、藤原種継暗殺の疑いでその座を追われて淡路へ配流となり、その途中で絶食して死亡し淡路で葬られる。その後の天変地異や疫病の流行は早良親王の怨霊のためとおそれられる
9世紀	794		都を平安京に移す
		伊勢物語・布引の滝見(神戸・中央)	在原業平が芦屋の領地に滞在し、須磨などに出かける
	845	大山荘(丹波・篠山)	東寺領荘園として成立する。多くの史料が残り、当時のようすを知ることができる
	901	菅原道真(東播・明石)	朝廷内での権力争いに敗れて太宰府に流される途中、明石の駅家で詩を詠むなど各地に伝説を残す。現在は各地の天満宮に祭られている
10世紀末	939	藤原純友の乱(阪神・芦屋、淡路)	旅の途中の貴族らを須岐駅でおそう。翌年には淡路国府をおそい、略奪をする
	940	多田院(阪神・川西)	清和源氏の2代目である源満仲は、領地である多田荘に多田院を建立する
1000ころ		「源氏物語」 須磨巻(神戸・須磨)明石巻(東播・明石)	紫式部は物語の中で、都を追われた光源氏にこの地を訪れさせ、明石の上との恋を描く
平安		紫雲山中山寺(阪神・宝塚)	花山法皇が広めたとされる西国三十三か所巡りの二十四番札所で、続いて御嶽山清水寺(東播・社)、法華山一乗寺(東播・加西)、書写山円教寺(西播・姫路)と続く
	1016		藤原道長が摂政となる
	1024	有間温泉	藤原道長が湯治をする
11世紀末		矢野荘(西播・相生)	地元の有力者によって開墾され、のちに藤原氏に寄進される
	1128	有間温泉	白河法皇が湯治をする
1170ころ		大輪田泊(神戸・兵庫)	平清盛が港を改修し、日宋貿易を行う
12世紀		弁慶の伝説(西播・姫路)	書写山円教寺には源義経の家来武蔵坊弁慶の伝説が残る
	1169	福原山荘(神戸・兵庫)	後白河上皇が行幸し、以降しばしば訪れる
	1172	広田宮歌合(阪神・西宮)	藤原俊成ら歌人58人が広田神社で歌を詠みあう
	1180	福原遷都(神戸・兵庫)	平清盛は安徳天皇や後白河法皇を奉じて、福原に都を移したが、6か月で京都に戻る
	1184	三草山の戦い(東播・社)	追討軍の丹波からの進入を警戒する平氏を、源義経の軍が三草山でうち破る

鎌倉	1192 12世紀末	一ノ谷の戦い(神戸・須磨～中央)	守りのかたい平氏の陣地に苦戦するが、義経の鶴越の坂落としの策により一転して源氏の大勝利に終わる	
		青葉の笛(神戸・須磨)	一ノ谷の戦いで討ち取られた平敦盛の残した笛で、福祥寺(須磨寺)の寺宝となる	
		腕塚(神戸・須磨)	平忠盛は駒ヶ林で討ち取られる	
		忠度塚(東播・明石)	大蔵谷で討ち取られた琵琶の名手経正の墓であるといわれる(誤伝)	
		源頼朝が征夷大將軍となる		
		浄土寺(東播・小野)	重源は東大寺の荘園である大部荘に別所を置き、これがのちの浄土寺となる	
		1207	法然(東播・高砂)	新しい教えを広めることをやめない法然は、土佐に流されることになり、その途中、高砂浦で漁師らに一心に念仏を唱えることを説く
		1210ころ	細川荘(東播・三木)	藤原定家が、源実朝からこの荘園の地頭職をおくられ、荘園の領有が確定する
		1223	淡路国大田文(淡路)	国司が、承久の乱で変更のあった地頭の名や各荘園の広さを記録した文である
		1274	文永の役がおこる(元寇)	
		1280	十六夜日記(東播・三木)	阿仏尼が、細川荘の所有権をめぐる先妻の子と争い、訴訟のために鎌倉まで旅をする。 阿仏尼の死後、所有権争いはようやく決着して、その子孫の冷泉家のものとなる
		1289	一遍の墓(神戸・兵庫)	全国を旅して踊念仏を布教した一遍は、ここで亡くなり、時宗の真光寺が建てられる
		1294	大山荘下地中分(丹波・篠山)	領家と地頭の領有争いの結果、領地を分割して分け合う
		1331	元弘の変(東播・加古川)	鎌倉幕府にとらえられた後醍醐天皇は、昆陽野(阪神・伊丹)を経て、加古川に着き、その後隠岐へ流される
		1333	赤松円心(西播・佐用)	佐用荘の荘官だったが、護良親王令旨を受け、摩耶山(神戸・中央)に城を築いて幕府軍と戦い、倒幕の大きな力となる
		1334	前年より建武の新政が行われる	
		1336	湊川の戦い(神戸・中央)	楠木正成は京都を守るため、九州から大軍を率いて攻めてきた足利尊氏と戦い、敗れて戦死する 後にこの地に湊川神社がたてられ、徳川光圀により記念碑が置かれる
		1338	足利尊氏が征夷大將軍になる	
		1351	足利尊氏(阪神・芦屋)	西国から兵庫に到着した尊氏は、打出浜で弟直義と戦い、敗れる
南北朝				

室町	14世紀後半	此隅山城(但馬・出石)	有力守護大名の山名氏はこの城を本拠に栄え、一族で11か国を支配して「六分一殿」とよばれる	
	14~15世紀	但馬守護職(但馬)	山名氏は明德の乱で多くの国を没収されたが、この国の守護職は保持し続ける	
		淡路守護職(淡路)	細川氏の分家が代々保持し続ける	
		丹波守護職(丹波)	管領の地位にあった細川氏の本家が代々保持し続ける	
		摂津守護職(摂津)	丹波国と同様、管領細川家が代々保持し続ける	
		1402	日明貿易(神戸・兵庫)	明からの使いの僧が兵庫に着き、足利義満が出向くなど、兵庫港は国際貿易港として栄える
	1441	嘉吉の乱(東播・明石)	京都で將軍義政を殺した赤松満祐が、和坂で追討軍との戦いに敗れ、城山城で滅ぼされる。以後、播磨は山名氏のものとなる	
	1467		応仁の乱がおこる	
	1475	感心堂の鐘(淡路・西淡)	細川勝元に従い東軍に属した一族によるものと考えられる	
	1488	応仁の乱(西播・姫路)	山名宗全が京都で戦う間に、播磨で兵をあげた赤松政則が書写坂本城で山名方を破り、播磨を再び支配下におく	
戦国	15~16世紀	竹田城(但馬・和田山)	山名四天王の1つ太田垣氏の居城で、典型的な山城として知られる	
		八上城(丹波・篠山)	波多野氏は、ここを居城として勢力を伸ばし、丹波の戦国大名となる	
		細川氏(阪神、淡路)	摂津国と淡路国を長く支配したのは室町幕府の三管領家の1つである細川氏であったが、家臣の三好氏の下剋上によって没落していく	
			キリスト教が伝わる	
		1549	生野銀山(但馬・生野)	守護山名祐豊が朝廷に白銀200両を献上する
	安土桃山	1567	ルイス・フロイス(阪神・尼崎)	尼崎でキリスト教を布教する
		1578	上月城(西播・上月)	羽柴秀吉は信長の命で播磨へ進軍し、上月城に尼子勝久を入れるが、毛利氏に攻められ、家臣の山中鹿介幸盛の活躍もむなしく、尼子氏はほろぶ
			三木の干殺し(東播・三木)	東播を支配する別所長治は、信長の支配を嫌って反旗をひるがえし、三木城にこもったが、秀吉軍に包囲されて兵糧攻めにあう 最期は長治の自害により将兵の命が助けられる(~1580)
			別所氏(東播)	赤松氏の分家の戦国大名で、三木城を本拠にして東播を支配したが、長治が信長に逆らったためにほろぼされ、支城であった野口城や神吉城、志方城(いずれも東播・加古川)なども攻め落とされる

江戸	16世紀末	丹波攻め(丹波)	信長の命を受けた明智光秀は、波多野氏の支配する丹波を攻略し、八上城(丹波・篠山)や黒井城(丹波・春日)などを攻め落とす(～1579)	
		竹中半兵衛(東播・三木)	秀吉の参謀だったが、三木城の戦いの間に病死し、陣地のあった平井山にほうむられる	
		有岡城(阪神・伊丹)	三木城の戦いの最中、信長から摂津の支配を任されていた荒木村重が反乱をおこして籠城するが、敗れる	
		華熊城(神戸・中央)	信長にそむいた荒木村重が、最後にこもった城である	
		但馬攻め(但馬)	秀吉は、弟秀長を但馬の平定におもむかせ、山名氏をほろぼす	
		黒田官兵衛(西播・姫路)	姫路の小領主であったが、秀吉に仕えて参謀として活躍し、のちに黒田家は福岡の大名となる 後藤又兵衛や、黒田節で有名な母里太兵衛は播磨時代からの家臣である	
		1581	淡路支配(淡路)	秀吉が若屋城(淡路)や由良城(洲本)を攻め落とし、安宅氏をはじめとする領主は降伏する
		1582	秀吉の大返し(播磨、摂津)	本能寺の変を備前(岡山県)で知った秀吉は、毛利氏と和睦し、すぐに姫路城(西播・姫路)に戻って態勢を整え、勝負所の代名詞となった天王山(京都)での明智光秀との山崎の戦いにのぞむ この間、秀吉軍1万5000は播磨・摂津を1日30～40Kmで行軍したという
		1583	羽柴秀長(播磨、但馬)	信長の後継者となった秀吉は、弟秀長を播磨・但馬の領主とし、姫路におく
		1590	三次秀次(阪神・尼崎)	尼崎には、秀吉の養子(姉の子)の三次秀次をおく
			木下家定(西播・姫路)	全国を統一した秀吉は、秀長のあとに木下家定(妻の兄)を置き、姫路城主として播磨と但馬を支配させる
		1594	高山右近(東播・明石)	秀吉の命で高槻から明石の領主となったキリシタン大名高山右近が船上城に入り、多くのキリシタンが付き従う。その後、秀吉の禁教令によりフィリピンに追放される
			太閤検地	秀吉により太閤検地が行われる
		1597	生野銀山(但馬・生野)	全国から秀吉に納められた銀の8割近くを占める
16～17世紀	1603	徳川家康が征夷大將軍となり、江戸に幕府を開く		
	藤原惺窩(東播・三木)	細川荘で育ち、別所氏に襲われるなど苦学しながら儒学を修め、近代儒学の祖となる		
	沢庵和尚(但馬・出石)	京都大徳寺の住職であったが、幕府に逆らい、流罪となる(紫衣事件)		
	17世紀	天竺徳兵衛(東播・高砂)	朱印船貿易で東南アジアを舞台に活躍する	
	新宮藩(西播・新宮)	池田氏が藩主だったが、跡継ぎがいなかったため改易となる		

1600

白鷺城(西播・姫路)

関が原の戦いの功績により池田輝政は姫路城を与えられ、一族で播磨・淡路・備前に100万石近い領地を得て、現在の白鷺城を築く

1609

篠山城(丹波・篠山)

領主松平康重が、現在の篠山城を築く

1615

蜂須賀氏の領有(淡路)

阿波の領主蜂須賀氏が加封された淡路は、家臣稲田植元の管理となり、稲田氏は由良城を廃して洲本城に移る

1617

本多忠政(西播・姫路)

池田氏が岡山と鳥取に移った後、姫路藩主となり、その子忠刻の妻である徳川秀忠の娘千姫のために西の丸に化粧櫓がつくられる

尼崎城(阪神・尼崎)

藩主戸田氏鉄は、幕府の命令により新しい城を構築する

1618

小笠原忠真(東播・明石)

本多忠政の婿で、明石藩主となり、船上城を移築するなどして現在の明石城を築城する

1662

多田銀山(阪神・川西)

代官所がおかれ、銀の産出の最盛期となる

17~18世紀

伊丹の酒(阪神・伊丹)

江戸初期では、奈良と並んで日本の酒造の中心だったが、次第に灘(阪神・西宮~神戸)もさかんになる

綿作(摂津、播磨)

このころ、商品作物として綿花の栽培がさかんになる

赤穂の塩(西播・赤穂)

もとは砂浜を利用した製塩を行っていたが、入浜式塩田の技術が確立し、全国有数の塩の産地となる

17~19世紀

尼崎藩(阪神・尼崎)

大阪に近いので、青山氏や松平氏などの親藩・譜代が代々領主となる

三田藩(阪神・三田)

志摩鳥羽城で水軍を率いて活躍した九鬼氏は、水軍の力を恐れた幕府によって内陸の三田藩主とされる

明石藩(東播・明石)

瀬戸内の交通の要所にあたり、小笠原氏や松平氏などの親藩・譜代が代々藩主となる

小野藩(東播・小野)

おもに一柳氏が藩主をつとめる

三草藩(東播・社)

おもに丹羽氏が藩主をつとめる

姫路藩(西播・姫路)

西国の要となる地であるため、池田氏以降は本多氏・榊原氏・酒井氏などの有力譜代大名がひんばんに入れ代わって藩主をつとめる

赤穂藩(西播・赤穂)

浅野家の断絶以降は、長く森氏の領地となる

竜野藩(西播・竜野)

天領の時期が長く続くが、江戸時代後半は脇坂氏の領地となる

林田藩(西播・姫路)

おもに建部氏が藩主をつとめる

三日月藩(西播・三日月)

おもに森氏が藩主をつとめる

山崎藩(西播・山崎)

おもに本多氏が藩主をつとめる

安志藩(西播・安志)

おもに小笠原氏が藩主をつとめる

福本藩(西播・神崎)

おもに池田氏が藩主をつとめる

篠山藩(丹波・篠山)

江戸時代の前半は松平氏、後半は青山氏が長く藩主をつとめる

柏原藩(丹波・柏原)

織田信長の次男信雄の子孫が藩主をつとめる

1688	出石藩(丹波・出石)	もとは小出氏の領地であったが、仙石氏が信濃から入城した時にそば職人も移り住み、出石そばがさかんとなる
	豊岡藩(但馬・豊岡)	江戸中期以降は京極氏が長く藩主をつとめる
	村岡藩(但馬・村岡)	おもに山名氏が藩主をつとめる
	蛸壺やはかなき夢を夏の月(東播・明石)	俳人松尾芭蕉が、奥の細道の旅の前年に、兵庫・須磨・明石を周遊した際に詠んだ俳句である
	田捨女(丹波・柏原)	元禄期を代表する女性俳人である
	上島鬼貫(阪神・伊丹)	有名な俳人である
	水車新田(神戸・灘)	六甲山系の急流では、水車による菜種搾油がさかんになる
17世紀	豊岡杞柳(但馬・豊岡)	円山川のコリヤナギを原料に柳籠履がさかんにつくられ、大阪に出荷される
	播州木綿(西播・姫路～加古川)	播磨で生産された綿花を加工するマニファクチュアが発達する
1701	赤穂藩取りつぶし(西播・赤穂)	赤穂藩主浅野内匠頭長矩が江戸城内の松の廊下で吉良上野介義央に斬りつけた事件で、浅野内匠頭は切腹、赤穂藩は取りつぶしとなり、城代家老大石良雄による赤穂開城により、藩士の多くは浪人となる
	赤穂浪士の吉良邸討ち入り(西播・赤穂)	大石良雄をはじめとする赤穂浪士47人が吉良邸に討ち入り、吉良上野介を討って主君のかたきをとる。やがて切腹処分となるが、後世では忠臣とたたえられる
1702	淡路人形浄瑠璃(淡路)	人形芝居の座が40もあり、最盛期をほこる
	享保の改革が始まる	
18世紀前半	浜坂縫い針(但馬・浜坂)	砂鉄を原料として縫い針がさかんにつくられ、大阪に出荷される
	養蚕業(但馬)	丹後ちりめんと結びついて、養父郡を中心に養蚕がさかんになり、西日本で最大規模となる
1716	竜野しょうゆ(西播・竜野)	うすくちしょうゆが西日本を中心に広まる
	三木金物(東播・三木)	農具や大工道具など様々な金物を生産し、やがて江戸にまで出荷するようになる
18～19世紀	百姓一揆(県下)	百姓一揆が200回近く発生する。一揆のたびに各藩の悪政が改められたが、一揆の中心となった農民は数多く処刑され、その供養碑が残る
	高田屋嘉兵衛(淡路・五色)	商人として蝦夷地にまで出掛け、アイヌの人々やロシアと交易をする
1805	伊能忠敬(県下全域)	大日本沿海輿地全図の作成のため、各地を測量する(～1814)
1824	出石騒動(但馬・出石)	出石藩で、家臣が幼い新藩主を除こうとしたことが発覚し、幕府の裁きを受ける

## 19世紀

池田草庵(但馬・八鹿)	儒学者で、郷里に青谿書院という塾をひらき、多くの人材を育てる
1853	ペリーが浦賀に来航する
1854	ペリーの成果を受けて、ロシアも軍艦を大阪湾に侵入させて測量を行う これに対して、幕府は各藩に海岸の警護を命じ、尼崎・明石・姫路の各藩が警戒にあたる
由良・岩屋の砲台(淡路・洲本, 淡路)	幕府の命令により、外国船を警戒して両所に砲台が築かれる
1863	軍艦奉行並勝海舟の提案により、大高州新田・難波崎(ともに尼崎)・今津・西宮(ともに西宮)・神戸・湊川・和田岬(ともに神戸)・明石・淡路松尾崎・由良に砲台を築く命令が出される。 その一部は現在も残る
神戸海軍操練所(神戸・中央)	勝海舟の提案により、海軍の術を習得する場が設けられ、坂本竜馬や陸奥宗光などが学ぶ
生野の変(但馬・生野)	8月18日の政変に敗れた尊王攘夷派の志士・平野国臣は、但馬の農村の上流階層の支持を受け、都落ちした七卿の1人沢宣嘉を奉じて挙兵し、生野代官所を占領する
1867	ええじゃないか(阪神・西宮) ええじゃないかが発生
	大政奉還が行われる
1868	神戸居留地(神戸・中央) 外国人が住むための敷地で、多くの商社が社屋を構え、治外法権問題の舞台となった
神戸港(神戸・中央)	京都に近く、他の港よりも開港が遅れたが、近畿の玄関口として発展していく
神戸事件(神戸・中央)	三宮神社付近で、備前藩の隊列を横切ったイギリスの水兵が備前藩士に殺傷される
兵庫県(阪神, 神戸)	摂津の西部が兵庫県となり、伊藤博文が初代県知事となる
ヒョウゴ・アンド・オオサカ・ヘラルド(神戸)	開港を機に、発行された英字新聞である
19世紀	ジョセフ=ヒコ(東播・播磨) 嵐で船が遭難し、アメリカ船に助けられる 通訳として活躍した後、日本最初の新聞を発行し、新聞の父とよばれた
1870	徳島藩士が洲本の稲田邸をおそう。 稲田家中は北海道に移住させられ、淡路は兵庫県に編入される
1874	鉄道開通(阪神, 神戸) 神戸～大阪間に鉄道が開通する
1881	淡路自由党(淡路) 自由民権運動がしだいに広まる

明治

明治中期		マッチ(神戸ほか)	輸出用の高級マッチの生産がさかんになる
		異人館(神戸・中央)	旧ハンター邸などが建設される
	1886	子午線	東経 135 度が日本標準時となる
	1888	山陽鉄道(神戸～西播)	神戸～姫路間に鉄道が開通する
	1894		日清戦争がおこる
	1897	姫路師団(西播・姫路)	陸軍第 10 師団が姫路城武家屋敷跡などに置かれ、軍都として発展する
	1904		日露戦争がおこる
	1908	賀川豊彦(神戸・中央)	葺合村新川にはいる
	1914	友愛会(神戸)	友愛会の支部が関西で初めて神戸で結成される
	大正年間		新開地(神戸・兵庫)
		プロ野球(阪神)	現在の阪神タイガースとオリックスブルーウェーブの前身の球団が相次いで結成される
		高校野球(阪神)	当時は中等学校野球大会で、鳴尾球場などで試合が行われる
		宝塚歌劇(阪神・宝塚)	宝塚少女歌劇がはじまり、多くのスターが生まれる
1918		米騒動	県内各地で激化し、神戸では鈴木商店がおそわれて全焼する。軍隊が出動し、主要都市を中心に 200 人以上が処罰される
1924		甲子園球場(阪神・西宮)	甲子の年に完成したため、この名となる
1925		淡路鉄道(淡路)	洲本～福良間の鉄道が完成する
1927		鈴木商店倒産	全国的な不況の中、新興財閥の鈴木商店が倒産する なお、神戸製鋼などの関係企業は現在も県下で活躍している
1931		明石原人(東播・明石)	直良信夫が西八木海岸で腰の骨を発見する
昭和初期			満州開拓移民
	1938	阪神大水害(神戸、阪神)	住吉川などがはん濫する
	1940	斉藤隆夫(但馬・出石)	衆議院議員の斉藤隆夫は議会で軍部の独裁を非難する演説を行う
	1941		太平洋戦争が始まる
	1945	空襲(阪神～西播)	阪神から播磨の海岸部はたびたび大規模な空襲を受け、死者 1 万人以上、全焼全壊建物 19 万戸以上、罹災者約 78 万人の被害を受ける
			ポツダム宣言を受諾する
	1946	農地改革	大地主制度が解体される
	1950	警察予備隊(姫路、伊丹)	基地がつくられる
	1951	ラジオ神戸	現在の AM 神戸が開局する

大正

昭和

平成	1952	コウノトリ(但馬)	各地に生息していたが、開発や農薬の使用で減少する この年に特別天然記念物に指定され、のちに兵庫県の県鳥となる
	1956	政令指定都市(神戸)	神戸市が指定を受ける
			国際連合に加盟する
	1966	ポートアイランド(神戸・中央)	埋め立て工事に着工する
	1972	山陽新幹線(阪神～西播)	大阪～岡山間が開通する
			沖縄が日本に復帰する
	1981	ポートピア博(神戸・中央)	人工島のポートアイランドで地方博覧会ポートピア 81 が開催されて人気を集め、全国的な博覧会ブームの引き金となる
	1985	ユニバーシアード(神戸)	世界の大学生のスポーツの祭典が開催される
	1993	世界遺産(西播・姫路)	姫路城がユネスコの世界文化遺産に登録される
	1994	但馬空港(但馬・豊岡)	但馬空港が開港する
	1995	阪神淡路大震災	大規模な都市型震災で 6000 人以上の犠牲者を出し、多くの建物が倒壊した
	1997	スプリング 8 (西播)	播磨科学公園都市の 1 つとして、大規模な研究施設が建設される
	1998	明石海峡大橋	本州四国連絡橋の 1 つとして開通し、パールブリッジと呼ばれる
	2000	淡路花博(淡路・東浦)	世界の花と緑が集まる博覧会が開催される
	2002	サッカー・ワールドカップ(淡路)	イングランド代表チームが、淡路島でベースキャンプを行う
		同(神戸)	神戸ウイングスタジアムが会場の 1 つとなり、ブラジル代表対ベルギー代表など 3 試合が行われる